

研究課題名：大腸腫瘍の進展に関する臨床病理学的・分子生物学的因子の研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2026 年 3 月 31 日までに当院にて通常の早期・進行大腸癌または炎症性腸疾患関連大腸癌/dysplasia に対して内視鏡治療及び手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

通常の早期大腸癌に対して内視鏡治療が行われておりますが、一部の患者さんではリンパ節転移や再発がみられます。これは内視鏡治療で癌が完全に取り切れたとしても、体の中に極わずかな癌細胞が残っているためではないかと考えられています。最近では、癌と遺伝子が関係していると考えられており、通常の早期大腸癌でどのような遺伝子が働いているかを調べることでリンパ節転移や再発がみられやすいタイプの患者さんを正確に特定し、予後との関連を調べることで、その後の治療に繋げていきたいと考えています。また、近年では炎症性腸疾患に伴う炎症性腸疾患関連大腸癌/dysplasia も増えています。これは早期の段階では通常の内視鏡観察で発見することがとても難しいタイプになります。これらの病理学的特徴や遺伝子、予後を調べることで、病気の早期発見・早期治療に役立てたいと考えています。この研究では、患者情報、内視鏡画像を調査し、切除された病理組織検体を用いて免疫染色や遺伝子解析を行います。そしてこれらがどのように関係しているのかを検討します。本研究により得られた知見は、今後の診療や治療に役立つことが期待されます。研究期間は実施承認日～2030 年 3 月 31 日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病歴、内視鏡画像、治療内容 等

試料：血液、内視鏡治療または手術にて切除された病理組織検体 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 病院助教 石川恵里
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞 65 番地 052-741-2172